

だいにぎ議会だより



芦野倉花しょうぶの里（町民発想地域づくり助成事業）

補正予算	(2)
第2回定例会で審議された議案	(2)～(3)
特別委員会・人事	(3)
行政報告	(4)
一般質問	(5)～(14)
議員研修	(15)
常任委員会報告・あとなぎ	(16)

No.
182
平成27年
7月10日

一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	2,000万円
国庫支出金	5,584万5千円
県支出金	1,019万円
繰越金	5,262万5千円
諸収入	180万円
町債	7,140万円

歳 出	補 正 額
議会中継システム用機器使用料	29万2千円
コミュニティFM放送支援事業補助金 (過年度精算分)	499万5千円
東京オリンピックキャンプ地等誘致に係るプレゼン資料作成業務委託料	91万8千円
県北地域お試し居住推進モデル事業費	100万円
みどり号運行業務委託料	15万1千円
地域福祉計画策定業務事業費	440万5千円
臨時福祉給付金事業費	3,492万8千円
ひとり親家庭等学習応援事業費	370万2千円
(仮称)池田保育園基本設計業務委託料	1,063万8千円
特産品販売促進事業費	173万8千円
中山間地域農業基盤整備促進事業費補助金	144万2千円
子育て家庭・シニア応援プレミアム商品券購入補助事業補助金	420万円
池田住宅建設事業費	8,264万5千円
子育て支援住宅建設事業費	3,462万円
子ども議会事業費	107万2千円
文化財展示施設等整備事業費	329万円

平成27年 第2回定例会

補正額2億1186万円の増額
補正後の予算総額
98億2986万円

平成27年第2回定例会が、6月3日から11日までの9日間の会期で開催され、平成27年度一般会計補正予算、人事案件など町長から提出された議案11件、報告4件を慎重審議し、すべて原案どおり可決しました。さら

に、議員提出議案として議員の派遣及び議員定数等調査特別委員会の設置が提案され、原案どおり可決されました。
一般質問では、11人の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。



提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第1号	平成26年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告第2号	平成26年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告第3号	平成26年度大子町一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	報告済
報告第4号	平成26年度大子町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告済
議案第52号	大子町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第53号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第54号	平成26年度大子町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認

議案番号	議案名	結果
議案第55号	平成26年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第56号	平成26年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第57号	平成26年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第58号	町道路線の認定について	原案可決
議案第59号	平成27年度大子町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第60号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第61号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議員提出議案第3号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議案第4号	議員定数等調査特別委員会の設置について	原案可決
平成27年 請願第1号	米価暴落対策の意見書を求める請願	継続審査
平成27年 請願第2号	T P P交渉に関する請願	継続審査
平成27年 請願第3号	国際平和支援法（派兵恒久法）・平和安全法制整備法（10本の現行法を改定）案を拙速に採決しないよう意見書の提出を求める請願	継続審査

議員定数等調査特別委員会を設置

今定例会において、議員提出議案として「議員定数等調査特別委員会の設置について」が提案され、原案どおり可決されました。提案理由は「昨年12月に議員の有るべき姿を定めた議会基本条例を制定・施行し、町民の負託に応え、町民に開かれた議会活動を開始した今、議員定数を調査・研究し、この大子町にとって適正な議員定数を見出し町民に開示することが、真に信頼される議会の姿と確信する。よって、議員各自の問題意識を啓発し、現況の把握及び課題の共有化を図るため、大子町議会基本条例に基づき議員定数等調査特別委員会の設置を提案する。」（原文のまま）です。

なお、委員長には小林秀次議員、副委員長には岡田敏克議員が選出されました。

大子町教育委員会委員に北原幸子氏

欠員となっていた大子町教育委員会委員に北原幸子氏（下津原）を任命することに同意しました。任期は平成27年6月16日から1年です。

大子町教育委員会委員に星洋治氏

大子町教育委員会委員の

森山秀樹氏が任期満了により退任したため、後任として星洋治氏（北吉沢）を任命することに同意しました。任期は平成27年6月16日から4年です。

人権擁護委員に永瀬道子氏を推薦

人権擁護委員の黒田京子氏が平成27年9月30日で任期満了になるため、後任として永瀬道子氏（上岡）を法務大臣に推薦することにしました。任期は3年です。

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

**平成27年第2回定例会
全議案とも全会一致
で可決されました。**

行政報告

出資団体の事業報告について、一般財団法人太子町振興公社、奥久慈だいが築漁業組合、太子おやき学校に関する事業実績の報告が行われました。

◇一般財団法人太子町振興公社

平成26年度の利用者数は89万72人で前年度より1143人の減となりました。全体の経常利益は5億7800万8875円であり、これに対する経常費用は5億9366万7665円で、1565万8790円の赤字決算となりました。赤字決算の主な理由は、施設利用者数の減少や東電からの補償金の減少などに加え、光熱費の高止まりと支払消費税の増額が主な要因と考えられます。

◇奥久慈だいが築漁業組合

入客者数は3万5269人で前年より3891人増となりました。売上高は4159万6863円で、前年比8万6534円の減収となり、339万6989円の赤字決算となりました。

◇太子おやき学校

福島第一原発事故に伴う風評被害による影響は、少しずつ解消されつつあると思われる中で、売上高は2055万2196円で、前年度と比べ210万5952円の増となりましたが、収支については、128万6041円の赤字決算となりました。おやきの販売数量については、学校給食の6万4254個を含めた17万7677個を販売し、前年度と比べ963個の増となりました。

出資団体決算状況

(一般財団法人 太子町振興公社)

		経常収益	経常費用	経常損益	利用者数
法人会計		687,572円	314,704円	372,868円	
受託施設部門	太子温泉保養センター「森林の温泉」	111,356,709円	119,637,100円	△8,280,391円	94,625人
	太子町観光物産館「道の駅 奥久慈だいが」	139,879,108円	139,256,585円	622,523円	166,262人
	八溝山展望台	1,265,900円	1,265,900円	0円	
	袋田観瀑施設	52,562,200円	52,562,200円	0円	512,146人
	東京理科大学太子研修センター	27,717,642円	27,807,708円	△90,066円	
	コミュニティ放送局	41,068,744円	42,724,021円	△1,655,277円	
	計	373,850,303円	383,253,514円	△9,403,211円	
広域公園部門	フォレスパ太子・オートキャンプ場(一体管理)	166,564,000円	173,192,447円	△6,628,447円	フォレスパ太子 46,475人 オートキャンプ場 34,766人
	太子広域公園	36,907,000円	36,907,000円	0円	
	計	203,471,000円	210,099,447円	△6,628,447円	
合計		578,008,875円	593,667,665円	△15,658,790円	

	経常収益	経常費用	経常損益	入客者数
奥久慈だいが築漁業組合	46,427,232円	49,824,221円	△3,396,989円	35,269人

	経常収益	経常費用	経常損益	おやき作り体験者
太子おやき学校	23,010,492円	24,296,533円	△1,286,041円	7,675人

一般質問

旧下野宮小学校の活用は

答 全体計画を作った中で検討する



菊池靖一 議員

部分もあるのではないかと。

答 町長

素人の職員でもある程度
のことはできるが、人に見
せるのだから見栄えの良い
ものを作るため、調査会社
にしっかりと調査してもらう
ための予算である。

つくばの森を整備して企業誘致の考えは

問 43町歩あるつくばの森
を整備して、企業誘致、更
にはふるさと納税を絡めた
事業を考えられないか。

答 町長

町の所有になっていない
虫食いの土地が6・5ヘク
タール程あるが、寄付をし
たいという話もあるので受
け入れた後、土地の利用を

考えていきたい。使うため
には造成費がすごくかかる
ので難しいところもある
が、使える方法があれば検
討したい。

問 あまり手を加えないで
山をきれいにし、道路だけ
整備して、事務所があれば
仕事ができるような例え
ば、世界遺産研究センター
やIT企業・政府機関の移
転など誘致できるのではな
いか。残りの部分は花の山
公園にするため、ふるさと
納税をしてくれた人の名入
のプレートをつけた花木類
の植栽をして、遊歩道を整
備すれば森林セラピー基地
とすることもできるのでは
ないか。

答 町長

大規模な造成をしないで
利用できないかとの提案だ
が、確かに一番理想的なの

かなと感じている。そうい
う企業があれば積極的に誘
致してまいりたい。花の公
園は維持管理が大変なの
で、ボランティアで皆さん
に協力いただけるのかも含
めて可能性があれば進めて
まいりたい。

道の駅だいがこの 駐車場整備の再 検討は

問 道の駅だいがこの足湯と

駐車場の整備が白紙に戻
したが、5月の連休中は満車
で、場内に入っても停めら
れず出ていくしかない状況
を見ると、駐車場の整備を
もう一度検討する必要がある
のではないかと。常陸大宮
市に道の駅ができれば入館
者が減ってしまうかもしれ
ないので、受け入れるだけ
でなく呼び込むことも必要
ではないか。

答 町長

調整池の上に整備する意
見もあったが30台前後しか
駐車できず増設の
車の割合に対し、
費用がかかりすぎ
るので見合わせ
た。常陸大宮市に
道の駅ができると
いうことは、道の
駅だいがこの駐車
台数が減る要因に
なっても増える要
因には決してなら
ない。そういうと
ころを見据えたい
えで今後考えてい
きたい。



つくばの森の整備を

一般質問

大子町職員の勤務評定実施について

答 人事権は町長の専権事項である



吉成好信 議員

きしたい。

答 町長

質問の趣旨がよくわからない。規則をつくり規則によつて勤務評価を行ったことが、短いからと問題はない。よく意味がわからない。人事権は町長の専権事項であり、どこの自治体でも同じである。それ（町長へ直

接提出）が独り占めしているから独裁的ということにはならない。人事を行うには能力に応じて評価する。そして公平な評価をすることがすべてである。（今回の人事評価が人事に活かされているかいるかの答弁なし。）

原子力災害の対策は

問 災害対策室の廃止は意識の薄さか。大子町は本

当に力を入れているのか。町民の安全・安心のために、しっかりと対策室を置いて対応しては。高齢者や要配慮者等の方々も多い現状にある。また、県の原子力防災対策資料等によると、P A Zで7万9千人、U P Zで88万人となり、5キロ

答 町長

メートル、30キロメートル圏内合わせて96万人が対象となるわけである。こういった原子力災害の対応だけでなく単独災害・複合災害も含めて対応すべきでは。また、安定ヨウ素剤の保管は3年が限度であるが、その交換管理は。

災害対策室は平成24年に

設置し、26年まで3年間にわたり町の防災体制の整備を担ってきた。その間、F Mだいがこの開局や自主防災組織結成の推進、町民挙げの防災訓練の実施等、防災体制の整備に成果を上げてきた。現在、F Mだいがの施設整備が完了し、自主

防災組織も100%結成された。今後も防災行政の充実を図っていける体制を整えているところである。安定ヨウ素剤は大人500人分、13歳未満の子どもも30人分は薬剤師が保管している。

台風18号の対応は（平成25年9月の災害）

問 平成25年9月18日付けで、愛宕町区長が町対策

部の要望を含めて検討をしていきたい。

本部宛てに文書を提出した。愛宕山南西方向の斜面が崩壊したため下側の住宅に土砂が流出した。今後も災害の恐れがあるがその対応は。

答 農林課長

今後の現地の状況を注視しながら、危険性が高くなった場合には、再度県と協議し、治山工



大子町役場

一般質問

地域公共交通の改善計画はいつ

【答】今年度中には計画を策定予定



野内健一 議員

ルートについては、別のルートで同じ路線が走っているの、町民の皆様には理解していただきたい。

問 今後、現在走っていない地区で、どうしても走って欲しいという要望があった場合、ルートの増便という考えはどうか。

答 まちづくり課長

そのような要望があれば検討していきたい。また、今年度は路線バス・スクールバス・町民無料バスの公共交通を全体的に見直すために、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画を策定したいと考えている。

問 ただ今答弁いただいた計画は、国が進めている地域再生

計画の中で生かされていくものと考えるが、国からの補助はどうか。

答 まちづくり課長

実施計画を作る段階で、国に認めていただくことを考えている。

問 高齢者の皆様から「大子町高齢者活動推進条例」の制定を希望するとの文書

子育て家庭・

シニア応援商品券の内容は

が配られたが、その中でデマンドタクシーの導入を強く希望するとの意見が記されていたが、この点について町長の見解は。

一番の課題は、どうすれば地域皆で一緒に利用できるかという点である。この点が解決できれば非常に効率がいい。このような問題を検討しながら、年度内に計画を作る予定である。

問 平成27年度大子町一般会計補正予算の中で、子育て家庭応援分（キッズカード）として、1千世帯分200万円と、シニア応援分（シニアカード）として1千100人分220万円が計上されていたが、これでは不足ではないか。

答 町長

現在の子育て世帯は、1343世帯、65歳以上の高齢者は7300人近い。これでは予算的に全く足りない状況である。この事業は国の交付金事業なので、大子町はその分配金が少ないということである。皆様にはご理解をいただき

たい。
問 改善策として何かないか。
答 町長

子育て家庭・シニア応援プレミアム商品券購入補助事業補助金全体として、420万円分の予算という考え方でいいと思う。一方の分の購入が少ない場合、もう一方へその分を運用できるとの考え方でいいと、県からの回答があったので、その方向で実施する。

答 町長

問 いくつかの実施か。
答 まちづくり課長

商工会からの連絡待ちだが、8月からの予定と思う。

利用状況については、他のルートに比べて非常に少ない状況である。これらの



町民みんなの「みどり号」

一般質問

他地域から若者を呼べ

答 創生総合戦略で検討したい



藤田友晴 議員

うな「移住促進一時金」等も考えられないか。

答 町長

移住促進については、空き家等を利用する希望者に対し、住宅改修経費として20万円の空き家入居支度金を交付している。子育て支援住宅も利用してもらいたい。大子町にとって、若者

の定住は最も重要な課題であり、この若者を対象とした「移住促進一時金」は今後必要である。「大子町ひと・まち・しごと創生総合戦略計画」の中で、さらなる支援策を検討していき

たい。また、町内に残っている若者への支援も同様に考えていきたい。

林野庁からの人材を活用すべき

問 各地方自治体では、林野行政を活性化し、地球温暖化防止や木材自給率向上、木質バイオマス活用、それらによる地域の雇用拡大と森林資源を更に活用する政策を進めている。林野庁によると平成26年度は20数名、平成27年度はその倍の自治体からの「出向受入希望」があったと聞く。大

子町もまさに森林資源が豊かな地域。林産業政策の積極性を構築するため、林野庁の人材を活用すべきと考えるが、また、町内企業と役場職員の官民人事交流も大切だと思うが。

答 総務課長

国との人事交流は、今後検討したい。官民人事交流については、民間企業の効

率的で機動的な業務遂行を体得することは、行政の課題に柔軟に対応できる知識や能力を有する人材の育成

に必要であると考えており、県や他の市町村の実施状況を参考にしながら、実施に向け取り組みたい。

DAIGOさんを大子町観光大使に

問 NHKの「あさイチ」で大子町が特集になり、多くの地元の方が出演し農産物や特産品のPRをした。また、番組ではタレントのDAIGOさんも訪れ大きな宣伝になった。ぜひ、DAIGOさんを大子町の観光大使にお願いできないのか。

に接触すべきと伺った。DAIGOさんの事務所へ話をしていきたい。

答 町長

先日、観光協会とNHK水戸放送局長に相談をし、直接DAIGOさん事務所



惣菜加工場の建設が決まっている山田造成地（山田地内）

一般質問

住みたい人を世話する窓口を

答 空き家情報の一元化は必要



大森勝夫 議員

問 町営住宅への申込者は、すなわち大子に住みたい人である。選考外者や町外へ転出してしまった方へ、携帯電話メール等を使って、空き家・町営住宅情報を継続して送信すれば、大子町に戻って来る機会の提供になる。

答 町営住宅への申込者は、すなわち大子に住みたい人である。選考外者や町外へ転出してしまった方へ、携帯電話メール等を使って、空き家・町営住宅情報を継続して送信すれば、大子町に戻って来る機会の提供になる。

問 結婚などで町営住宅の入居を希望した家族が、選考外になると町外へ転居してしまう事例がある。町内の空き家情報が若者には分かりづらいからだと聞く。入居を希望する若者の世話係として、諸般の住宅情報を統括した案内窓口が必要なのではないか。

答 町長 町営住宅は建設課、空き家情報はまちづくり課が担当している。情報を一元化していく必要があると感じている。

問 町営住宅への申込者は、すなわち大子に住みたい人である。選考外者や町外へ転出してしまった方へ、携帯電話メール等を使って、空き家・町営住宅情報を継続して送信すれば、大子町に戻って来る機会の提供になる。

答 建設課長 現在は、広報だいご等による情報提供を行っている。情報のメール発信も新たな手法として検討してみる。

問 民間の空き家情報を管理する組織作りを業



大子町に住みたい人を世話する窓口設置を

たい人が希望物件を見つけやすくなるのではないかと考える。

答 町長

民間の情報まで提供するととなると、商売上の問題もあるので難しいと考える。

問 公営住宅債によつて建設した住宅は、入居条件に収入制限があり、若者にはハードルが高い。制限の撤廃または改正ができないか。

答 町長

以前、国の住宅局長との面会で、地域の事情に応じても良さそうな感触を受けた。改正に取り組みたい。

奨学金による後継者育成と定住支援を

問 大子育ちの若者のため、無利子・返済型の奨学金を設立し、将来、町に定住している期間中は返済を免除する制度があれば、人材育成・後継者育成・若者定住につながる。考えは。

答 町長

滞納時の対応や、事務処理などの業務から難しいと考える。

国の関連施設を町へ誘致する取り組みは

問 地方創生により国の施設を地方へ移転する動きがある。町への誘致活動は。

答 町長

情報が少ないうえ8月締切である。検討しようがないのが現実である。

若者のスポーツ支援は

問 スケートボードを楽しむ若者がいる。遊戯場所を指定・整備することで、事故防止と健全育成が図れるのではないかと。

答 町長

マナー良く楽しんでいると感じている。現段階では様子を見たい。

一般質問

湯沢温泉跡に観光拠点の整備を

答 所有者に町の意向を働きかける



中郡一彦 議員

施設の整備をすべきではないかと思うが、考えを伺いたい。

答 観光商工課長

男体山や湯沢峡に訪れる観光客が年々増加していると考えている。この観光客の拠点として、湯沢温泉を活かす事ができれば素晴らしいと思うし、また充実したおもてなしができるかと考

えている。しかし建物が半分壊された状態であり、景観も損なっており、衛生・保安上からも好ましくない状況である。ただ、所有者のある事なので今後の活用方法などを所有者に確認して、町の意向に沿った事業展開ができるように、働きかけていきたいと考えている。

若い人たちが町内に定住させるためには、土地の提供は必要だと思う。以前の山田ふるさと農園事業は評判が良かったが、町外の人を対象だった。今後は町内外を問わず、土地を提供したいと思っているが、町が造成まで行くと多額の費用がかかる。町がどの程度まで行うか、いろいろな方を今後検討して進めたいと考えている。



湯沢方面に道路改良が進む県道322号線

町内に住宅を建てる人に

土地の提供を

問 若者世代の流出に伴い少子化が加速している。これは、本町に雇用の場が少ない事が要因である。そして住居を町外に建てる若者も少なくない。これは、通勤の便が良ければ町内に住んでも良かったが、適当な土地がないので町外に住居

を建てた、という話も多く聞く。こういった若者が町内に定住するためには、通勤圏で交通の便の良い場所に町で住宅団地を造成し、土地を提供できるような施策を講じる必要があると思うが、考えを伺う。

答 町長

専門能力の高い職員の育成と採用を

問 本町の職員の減員に伴い、一般事務では事務機器の性能アップにより効率化が進んでいるが、専門性を求められる担当職においては、専門能力の高い知識と経験が必要である。職員の減員と共に、そういった職員が減っている。今後、中長期的に育成する必要があると思うが、考えは。

答 町長

ご指摘のように専門能力の高い職員を必要としているのは間違いのない。今後そういった職員の育成や採用をしっかりと進めていきたい。

その他の質問

- りんごジュースで乾杯条例を
- フラワーパークで町おこし
- 外国人におもてなし

問 男体山周辺に訪れる観光客が年々増加している。健康志向などによるトレッキングブームや、つつじヶ丘の「山つつじ祭り」など、特に中高年のリピーター客が増加している。また、西金から湯沢方面への道路改良も進んでおり、利便性の向上と共に更なる観光客の増加が見込まれる。このようなことから、男体山と湯沢峡の合流地点である湯沢温泉付近に、観光客の憩いの場として、また交流の場として観光客の拠点となる

一般質問

地元資源の活用、道路網の整備は

答 地方創生戦略計画の大きな柱



佐藤正弘 議員

認証し、販売促進を図っている。現在40品目が認定されている。また、販売促進を図るため、農林課内に特産品販売室を設置し、販路拡大に向け取り組みを始めたところである。

問 大都会から離れた自治体で人口を増やしているところがある。地域資源、地場産業の振興などが要因としてあげられる。町の取り組みは。

答 観光工課長 大子町のすぐれた農産物や加工品を大子町農産品ブランド「だいがみ」として

問 企業誘致、地元資源の活用と同時に、道路網の整備が重点課題だと考えるがどのように考えるか。

答 町長 企業誘致、地元資源の活用、道路整備について積極的に取り組んでいるところである。今後の地方創生戦略計画においても大きな柱になる。

町有財産の有効利用は

問 町有財産は、町民全体のものである。町の所有権が確定した八溝山日輪寺の

駐車場及び契約の違法行為があったとされる旧黒沢中学校の校舎、グラウンドの

今後の対策は。

答 財政課長

平成27年2月26日、被告側の上告棄却の決定により判決が確定し、町の主張が全面的に認められている。町有地に設置してある建物等の撤去について催促を行い、それでも撤去されない場合には、法的手段の対応も検討していく。

答 まちづくり課長

旧黒沢中学校の太陽光発電事業について、契約の違法行為から、事業者に対し是正措置を命令する予定である。具体的には、



駐車場等町の所有が確定した日輪寺

現契約について、解約合意書を締結し、その後、改めて三者契約を新たに締結したいと考えている。再契約にあたり、駐車場のスペース

安保関連法案への考えは

問 現在、国会では安保関連法案の審議が行われている。世論調査では、今国会での成立反対が賛成を大きく上回り、衆議院憲法審査

ス確保のため、一部パネルの撤去、移設を依頼している。旧黒沢中学校の見学しやすい環境づくりを進める。

問 会の参考人質疑でも全員が憲法違反の認識を表明している。この安保関連法案についてどのように考えるか。

答 町長

安保関連法案が国会で議論されていることは承知している。国政に関する質問に、この場で答弁することはできない。

問 太平洋戦争では、大子町でも1200余の方が亡くなった。町自体が自衛隊募集業務の支援、町内から自衛隊への入隊者もいる。命や暮らしを守るのも町の任務である。考えを表明すべきである。

答 町長

安保関連法案がいいか悪いか、町議会で論議する場ではない。

一般質問

地方創生に係る大子町の戦略は

答 国の施設誘致に対応していく



藤田 健 議員

ある施設が移転してもいいですよというときに、例えば面積がどのくらい必要

で、どんな住環境が必要かなど示されていないので、現在は選びようがない状況にある。しかし、国の施設を誘致するということは、

それなりに雇用や人口対策に大きな役割が果たせると

つくばの森など、

町有地の活用内容は

問 国の機関の施設誘致があつてこそ、高規格道路や

118号国道の改修が早期に実現できる要望が強力になると考えられるが、道路の利便性が高まることによって、ベットタウンとしての機能が高まり、働く場所が近くなる。皆に好かれる住み良い町づくりはそこ

思っているので、そういう対応はしていきたい。

答 まちづくり課長

3月に町長を本部長とする創生本部を設置した。その下部組織として、プロジェクトチームを策定して、今動いている。

にあると思うが町の考えは。

答 町長

国道118号の千歳橋のバイパスとか、瓜連の拡幅。それから袋田バイパス、こういういったところを優先的にやってもらいたいと思っている。

地域共生を図るビジョンはどのように

問 地域との共生を図る方法として、栃木県喜連川社

会復帰促進センターが開設された。2千人の人口が増加し、雇用者400名のうち地元雇用260人、利用面積は42万5891平方メートルである。この施設には、計り知れない経済効果があると言われている。年間発注額は4億5千万円であり、国策

に基づき経済効果は計り知れない。大子町には43万平方メートルの町有地がある。その土地を有効活用する政策こそが、次世代の豊かな町づくりの基になるのではないかと思う。人口増加の方法を考えることが、何より優先して考えるべきと思うが町長の考えは。

答 町長

確かに喜連川の例を見ると、地域経済への波及効果は非常に大きいものがあると考えている。国が新たに更生施設の計画がある場合には積極的に働きかけをしてもいいのではないかと思っている。

果は計り知れない。大子町には43万平方メートルの町有地がある。その土地を有効活用する政策こそが、次世代の豊かな町づくりの基になるのではないかと思う。人口増加の方法を考えることが、何より優先して考える



国道118号北田気地内

一般質問

放課後子ども教育の拡充は

答認定こども園も視野に考える



金澤眞人 議員

問 有害鳥獣被害対策の状況は。

答 町長

箱わなを20基作ったが、状況に応じ順次作っていく。

答 農林課長

狩猟免許取得補助金事業で予備講習会の募集を行っているが、すでに60名に達している。

問 鳥獣被害対策嘱託員の状況は。

答 農林課長

現在3名で構成しており、時間制で勤務している。問 集落見守り支援事業の

状況は。

答 町長

孤独死などを防ぐための緊急対策的な事業であるが、役割分担や、より効率的な運用など、現在民生委員の方と協議している。

問 4月から週5日実施している、放課後子ども教室

の状況は。

答 教育長

前年に比べ利用児童は71人増え、全体の4割が利用している。当初、サポーター不足が心配されたが、雇用の場にもなり見守り体制も十分できている。

再生可能エネルギーへの対応は

問 スパ袋田ゴルフ場跡地の太陽光発電の状況は。

答 まちづくり課長

工事は90%進んでおり、8月15日から商用運転を開始する予定である。

問 ザイレツジゴルフ場跡地の状況は。

答 町長

測量が終わり次第、山林の伐採、7月頃には造成工事に入ると思う。

係機関と協議し有効利用したい。

問

町有地へのバイオマス発電施設設置の話があるが、その概要は。

答 町長

現在2社申し入れがあるが、排熱利用や雇用機会、材木需用拡大などメリットがあり積極的に考える。

町の資源を活用して町の活性化を

問 観光スポットとなっている永源寺への通行混雑緩和の対策は。

答 町長

町の駐車場から押川沿いの堤防を整備する。来年度早々には舗装完了したい。



皆で楽しんでいる放課後子ども教室（ドッジボールの様子）

問 大子の自然を活用した体験学習の一環として、カーヌー振興の具体的な考えは。

答 教育委員会事務局次長

今年度、子ども用カーヌー5艇を購入する。4年後の国体のカーヌー競技会場となっており、県カーヌー協会や関係者と協力し、カーヌーを通じて町の活性化を図っていききたい。

議員研修視察報告

佐賀県武雄市役所・図書館（7月1～2日）

平成18年に1市2町が合併し、人口5万人の規模となった武雄市は、図書館のリニューアルや教育改革、イノシシ対策に取り組み、知名度が全国区となった。

【教育改革】

武雄市の児童は予習が足りない。その対策として、タブレット（大型スマートホンのような機器）を導入した。児童は帰宅後、タブレットの映像にて予習と設問の回答をする。回答は教師のタブレットにデータと



研修の様子

して届く。翌日の授業は、データをもとに児童一人ひとりの確かな指導を実施できるようなった。全てをタブレットに依存する指導ではなく、理数系の1日1教科で、予習と授業が連携した使用に限定している。

また、録画機能を活用して、体育では模範児童の動きの研究等に活用していた。所管として、機器の効果的な使用方法が考え尽くされており、タブレットの導入目的である「学力向上」に真摯である。さらに、官民一体型小学校を実施している。公立学校に、塾という民間のノウハウを融合させた形式なのだ。例えば朝のモジュール授業。四字熟語の音読、木製ブロックによる数字遊び、筆記での計算問題とテンポよく15分ほど進む。動・動・静の展開により、集中力が高まった状態で本来の授業へと入って

いく。塾は嫌になったら子どもが来てくれない。どうすれば子どもが興味を持つてくれるのか。塾の運営から得たノウハウを学校現場に融合させている。「何を改革したのか」の評価ではなく「何が良くなるのか」を重視する価値観が、斬新な教育改革を実現させてきたのだろう。



武雄市役所庁舎前にて

【イノシシ対策】

イノシシ被害対策として、猪肉の特産品化に挑戦している。食習慣からか地産地消が難しく、大都市圏で顧客を開拓しなければならぬ厳しい実情を感じた。現在は農林課所属だ

が、イノシシ課の設立に始まり、イノシシ駆除隊を「トツテクレンジャー」、害獣駆除犬を「公務犬（コムイン）」、その小屋を「公務員犬官舎（コムインカンシヤ）」と命名するなど、ネーミングが柔軟だ。鷹匠による害鳥の威嚇も特殊な事例だろう。しかし、イノシシ駆除に差異はなく、地道な捕獲実行と柵による農地防衛であった。アイデアを打ち出し実行する気概は見習うべきものと感じた。

【武雄市立図書館】

歳かすぎて近寄りがたし。子育て世代が持つ図書館のイメージではなからうか。そう考えた前市長は、気軽に本と触れ合う図書館を夢見た。年中無休で夜9時まで開館。市中の本屋さんの便利さを図書館に。解決策は民間委託だった。すると既存団体は大反発。図書館という定義の大論争が起こった。前市長が掲げた新図書館の概要コンセプトは次のとおりである。



図書館 幼児・子どもエリア：机、椅子が子ども用になっている

◆本の貸し出し業務を機械化することで、司書が本来の業務に専念できる。

◆雑誌蔵書の購入費削減対策として書店エリアを設け、雑誌の閲覧と販売を兼ねる。

◆カフェ店舗を館内に併設し、コーヒーを飲みながらの閲覧も可能である。

図書館界からは異論が噴出したが、改革案が市民の支持を得て実現に至った。本と過ごす快適な時間空間の提供という点で武雄市立図書館は秀逸である。本屋の経営すら厳しい過疎地にとって、新しい図書館の降臨ではなからうか。（大森）

常任委員会報告

総務委員会・産業建設委員会

総務委員長 藤田友晴

去る4月28日、産業建設委員会との合同研修視察を行った。当日は、油研工業株式会社袋田工場と弘陽電気株式会社との2社を視察し、改めて製造技術の高さや精密さ、技術者の意識の高さに感銘を受けた。また、整理整頓された職場環境に感心した。視察後の大子町企業連絡協議会との懇談会



総務・産業建設委員会合同研修視察：油研工業株式会社

では、町主導で学校、ハローワーク、企業との雇用問題会議の開催や町中心部観光施設の整備、観光工予算要求、那須塩原駅からの観光ルート考案等、要望・意見が出された。

文教厚生委員会

委員長 金澤真人

5月12日に文教厚生委員会委員で、さはら小学校と黒沢小学校の「放課後子ども教室」を視察した。さはら小は児童数45名中27名が、黒沢小は34名中24名が教室に参加しており、最初に宿題などの「学習の時間」、次に楽しみながらの化学実験などの「エンジョイタイム」。そして体育館でドッジボールなどを楽しむ「フリータイム」など、各学校で工夫されたメニューとなっていた。子どもたちを見守るサポーターからは、他校との情報交換、長期休みの時も実施して欲

しい等の要望があった。



文教厚生委員会視察：さはら小学校放課後子ども教室（実験の様子）

議会議中継はインターネットでも見ることが出来ます

映像を見るには、町のホームページからアクセスし、議会議中継ページ（生中継）又は、録画配信をお選びください。会議名・議員名・用語により検索し、映像を選択してご覧いただけます。

議会を傍聴しましょう

議会傍聴は町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

9月定例会開催予定

- ▽2日（水）開 会
 - ▽3日（木）～6日（日） 自宅審議
 - ▽7日（月）一般質問
 - ▽8日（火）一般質問
 - ▽9日（水）一般質問
 - ▽10日（木）逐条審議
 - ▽11日（金）逐条審議
- 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

★今回の表紙

芦野倉ひくぞー会（メンバー28名）が、休耕田を利用し花しょうぶの植栽を行ってきました。今年もきれいな花しょうぶが咲き訪れるお客さんも年々増えています。

あとがき

6月の定例議会も終わり、本年度も約4か月が経過した。町民のみなさんが選択した「福祉の町」づくりがスタートしたところ。財源を確保し、大子町らしい高齢者福祉、少なくなつた子どもたちの子育て環境整備が最も重要な課題と考えます。これらの問題を解決するには、広く町民の皆さんの発想、意見を求めたいと思います。地域のニーズに沿った政策を提案できる議会、わかりやすい町政をお伝えできる議会活動に、今後とも努力したいと思います。（鈴木陸郎）

大子町議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤田 稔 |
| 副委員長 | 金澤 真人 |
| 委員 | 菊池 靖一 |
| 委員 | 大森 勝夫 |
| 委員 | 藤田 友晴 |
| 委員 | 鈴木 陸郎 |
| 委員 | 齋藤 忠一 |